

たかねざわ

議会だより

1

January.2019
No146

Take Off ～未来へはばたけ～



Contents

表紙写真：平成最後の成人式

- 12月定例会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 一般質問（消防団支援・道の駅化・保育など4議員が町政を問う）・・・・ 13
- 重要町政課題（元気あっぷむら・土づくりセンター）・・・・・・・・ 20
- 特別企画 「町シニアクラブにインタビュー」・・・・・・・・ 22



12月
定例会

原案全てを
可決

第391回議会定例会のあらまし

定例会は、平成30年12月4日から13日までの期間で開催されました。
議案は、条例の一部改正3件、補正予算3件、報告1件の全7件と請願・陳情を審議しました。
また、一般質問は4人の議員が行い、「消防団員の支援」、「教育の充実」、「環境保全型農業の方策」、「元
気あつぷむらの活性化」、「東小学校プロポーザルの契約」、「地域包括ケアシステムの構築」、「子育て支援」、
などについて、町政を問いました。
また、各常任委員会では、付託された議案や請願・陳情等を審議しました。
最終日は、各常任委員長より委員会審議結果の報告がされ、全議案を原案のとおり可決しました。
さらに、追加議案として条例の一部改正3件、補正予算5件の計8件と、議長発議により「議会活性化特別委員会」が設置され可決しました。

平成30年度 一般会計補正予算の概要

- 主な歳入**
- ・社会資本整備総合交付金 200万円
 - ・学校施設整備基金繰入金 1130万円
- 主な歳出**
- ・きのこのもり改修事業費 1214万円
 - ・小中学校エアコン設置工事費 1130万円
 - ・子ども医療費助成費 540万円
 - ・駅東駐輪場屋根設置工事費 500万円
- が主なもので、職員の人件費、特別会計への操出金などがありました。

町税条例の一部改正

改正内容

平成28年度税制改正等により、平成31年10月1日に施行となる軽自動車税の環境性能割は、当分の間、県が徴収を行うとされていることから、県と県内市町との合意に基づき、自動車税の環境性能割の非課税、課税免除及び減免と同様の取り扱いとします。

※ 環境性能割とは

現行の自動車取得税に代わって消費税が10%に上がると同時に導入される予定の新税。

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

改正内容

学校教育法の一部改正により、専門職大学が法制化されることに伴い、条例に専門職大学の前期課程修了者の文言を追加するものです。

施行日は平成31年4月1日

水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部改正

改正内容

学校教育法の一部改正により、専門職大学が制度化されることに伴う資格要件の変更であり、条例に専門職大学の前期課程修了者に関する文言を追加するものです。

施行日は平成31年4月1日



児童館みんなのひろばのようす



西町の水道工事の監理状況

宝積寺駅東駐輪場屋根 軟弱地盤が判明し、

総括質疑

いつできる？

駐輪場の屋根は

Q

駅東口第2駐輪場屋根設置
工事費は、当初予算3000
万円が計上された。早期にな
ぜ工事ができなかったのか？

A

都市整備課長

当初予算では、設計・工事を30年度中に行う予定でした。5月27日に設計の契約を行い、この段階で、地盤が弱いことが判明し、12月の補正で地盤改良工事を実施することになります。

工事完了は、平成31年6月の予定となり、年度内に完了できないため、今回の補正予算で3500万円の繰越明許費を計上しました。

早期エアコン設置

Q

児童館「きのこのもり」の
エアコン改修工事に係る補助
金の内容は？

A

いづみひろい課長

エアコン工事には補助金がありません。

きのこのもり改修工事関係の補助金は、中央小の児童保育所の改修に対するものです。エアコン改修工事については、きのこのもり増築改修工事として児童保育所の改修工事と合わせて当初予算に計上していましたが、残金が680万円であり、改めて31年度予算に計上するため精査したところ、工事期間に4カ月を要することが判明し、31年度当初予算では暑い時期に間に合わないため、不足分を補正しました。



きのこのもりのホールにエアコンが設置されます



増築改修によって、よりよい児童館へ

土地・原発・医療・土づくりセンターなど
請願・陳情8件を審査

閉会中の継続審査となっていた陳情6件と、新規の請願1件及び陳情1件を、付託された委員会が慎重に審議しました。各請願・陳情に関する委員会の審査結果、及び本会議での審議結果は次のページです。

「東海第二原発の稼働延長を認めない意見書の提出を求める陳情」について、審議の結果、不採択となりましたが、内容については妥当と理解し、町議会独自の意見書を経済産業省と原子力規制委員会に提出することに決しました。提出理由等については5ページに掲載しています。

町民の負託に応えた各議員の賛否!!

平成30年度12月定例会 議案と審議結果

上程された議案＆概要	澤畑 宏之	高根 博	佐藤 晴彦	鈴木 伊佐雄	中山 喜美一	加藤 章	齋藤 誠治	梅村 達美	横須賀 忠利	小林 栄治	神林 秀治	森 弘子	野中 昭一	鈴木 利二	阿久津 信男	結果	掲載 ページ
賛成：○ 反対：×																	
※ 齋藤武男議員は議長のため採決に加わりません。																	
条例の一部改正																	
町税条例の一部改正 平成31年10月1日から施行となる軽自動車税の環境性能割の非課税、課税免除・減免に関し、所要の改正を行うもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	P2・P6
放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 学校教育法の一部改正で専門職大学が制度化され、職員の資格要件に関し所要の改正を行うもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	P2・P8
町水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部改正 学校教育法の一部改正で専門職大学が制度化され、工事監督者、技術管理者の資格要件に関し所要の改正を行うもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	P2・P10
平成30年度補正予算																	
一般会計（第4号） 0.015%増額補正 歳入は、学校整備基金繰入金1130万円の追加などで、歳出はきのこのもり改修事業費1214万円の追加、こども医療費540万円の追加などによる補正で、補正後の予算総額は111億6256万円。	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	×	○	○	○	可決	P6・P8・P10
国民健康保険特別会計(第2号) 0.074%増額補正 歳入は保険給付費等の県からの交付金6515万円の追加などで、歳出は一般被保険者療養給付費6475万円の追加などによる補正で、補正後の予算総額は27億5096万円。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
介護保険特別会計（第3号） 0.033%増額補正 歳入は介護給付費負担金116万円の追加、地域支援事業交付金147万円などで、歳出は介護予防サービス給付費271万円の追加などによる補正で、補正後の予算総額は21億9326万円。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
請願・陳情（ ）は付託された委員会が判断した結果です。 その結果に対する各議員の賛否です。																	
100条委員会設置審議に関する請願 提出者：長部正信氏 紹介議員：横須賀忠利議員（継続審査）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決	P6
土づくりセンター存続に関する陳情 提出者：土づくりセンター利用組合（継続審査）	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	P10
土づくりセンター継続稼働に関する陳情 提出者：JAしおのや高根沢地区園芸生産部会連絡協議会（継続審査）	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	P10
患者負担を増やさないことを求める国への意見書提出に関する陳情 提出者：栃木県保険医協会（不採択）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決	P8
難病医療費助成制度の改善を求める国への意見書提出に関する陳情 提出者：栃木県保険医協会（不採択）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決	P8
東海第二原発の稼働延長を認めない意見書の提出を求める陳情 提出者：原発いらない栃木の会（不採択）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決	P6
臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情 提出者：移植ツーリズムを考える会（継続審査）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	P8
土づくりセンター継続稼働に関する陳情 提出者：御料会株式会社（継続審査）	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	P10

※この他、追加議案が8議案あり、人事院勧告による給与改定に準じ条例の一部改正3議案と、職員給与費の追加5議案がありました。結果、全ての議案が可決されました。

聞かせてくださいm(._.)m傍聴した感想を！ 受け止めます👉あなたのご意見を("◇")ゞ



氏名 山崎 周さん
住まい 宝積寺
職業 自営業

平日の日中に開催される議会には、なかなか見に行くことができず、今までに数回ですが傍聴に行ったことがあります。

傍聴に行けなかった時は、議会が終わった翌月に、議会だよりが新聞折り込みされるので、欠かさず見るようにしています。

また、「マチイロ」というアプリでも議会だよりが見ることができ、発刊されると通知がくるので、いつでも、どこでも議会だよりが見られるのは、とてもありがたいです。

今回は、「一般質問」を傍聴し、議員と執行部が熱く議論しているのを見て、映像や紙面では感じられない感覚があり、直接見るに限ると感じました。

この一般質問は、「You Tube」で動画配信されているので、どんな感じが一度見てみると、見に行ってみようかと思うかもしれませんね。

この他にも、庁舎1階の住民課の前で、議会の中継をしていて、「議場に行くのはちょっと」と思う方は、こちらで見るのが最適かもしれません。

こうした環境を皆さんに知ってもらうためにも、より周知を図っていただくと共に、聞きなれない用語の解説集や議会に合わせて「カフェ イベント」などをやってみてはいかがでしょうか？

多くの町民の方に、町政への関心を抱いていただける取り組みを期待すると共に、「故郷たかねざわ」の発展のために、全力を注いで頑張ってください。

今月の表紙写真を紹介します♪



平成最後の成人式。

これからの新時代を切り拓く成人者に「全国ご当地ソンググランプリ」を受賞した「のぶおぼんど」が、この日の為に書いた曲「あの日の僕へ」を披露し、エールを送りました。

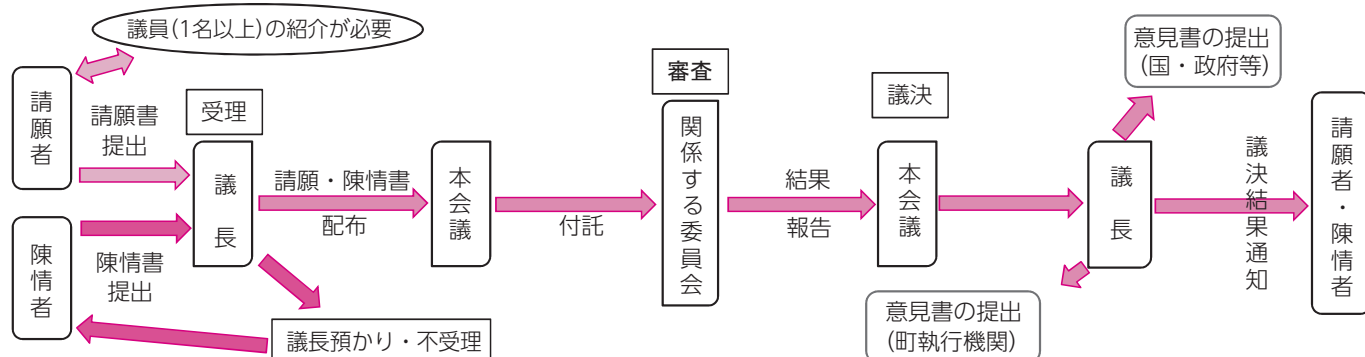
晴れの舞台に「のぶおぼんど」を呼ぶと決めた成人式実行委員会の皆さんとバンドメンバーで、記念の一枚を撮らせていただきました。

新成人の皆さん、おめでとうございます。

東海第二原発の稼働停止を！ 原子力規制委員会に独自の意見書を提出

提出先	経済産業省、原子力規制委員会
提出理由	本意見書は、「原発いらない栃木の会」の陳情内容は妥当と理解するが、エネルギー政策は国策であり、稼働延長及び停止を求めるなら経済産業省及び原子力規制委員会が適当であると判断。 また、原発の安全神話が崩壊している事や、不測の事態が起きた場合、町民の安全を確保できず、町民の安全を最優先に考えた結果、町独自の意見書を提出することにしました。
採決結果	全員一致により賛成
関連ページ	6 ページ（総務常任委員会審議報告）

請願と陳情はどういう流れで審議されるの～？(；°Д°)?



総務常任委員会 審議報告

主な補正予算

主な補正内容は、

歳入

・総務費委託金

293万円

・財政調整基金繰入金

2127万円

歳出

・県議会議員選挙費

293万円

その他、人件費等の補正などがありました。

一般会計 補正予算審議

県議会議員選挙費

Q

県議会議員選挙の歳出費用は、全て県から支出されるのか？また、ポスター掲示板の数は？

A

選挙管理委員会書記長

全て県から支給。ポスター掲示板の数は96箇所あります。

職員の健康チェック

Q

債務負担行為補正の健康診断の内容は？

A

住民の皆さんに対し、町が行っている健康診断と同じ内容であり、それに加えてストレス診断を実施しています。

条例改正審査

軽自動車税の環境性能割

Q

町税条例の一部改正の具体的な内容は？

A

軽自動車税の環境性能割についての非課税免除及び減免と同様の取り扱いとします。平成31年10月1日より施行されます。

軽自動車税環境性能割

平成28年度 税制改正時点 軽自動車（自家用の場合）		税率
乗用車（税率区分）	貨物車（税率区分）	
電気軽自動車等 平成32年度 燃費基準+10%達成車	電気軽自動車等 平成27年度 燃費基準+20%達成車	非課税
平成32年度燃費基準達成車	平成27年度燃費基準+15%達成車	1%
上記以外の車	上記以外の車	2%

※軽自動車の通常の取得価額に税率を掛けた額が税額となります。
※燃費基準とは「エネルギーの使用の合理化に関する法律」に基づき、国土交通省が設定するものです

請願

100条委員会設置 審議に関する請願

請願理由

本請願は、現町長と元町長、元建設産業部長の3名に対し、不正行為究明のため、100条委員会設置及び審議を願ったものです。

審査内容

紹介議員より請願内容等を聞き、担当課長の説明を受けました。さらに、問題提起の土地に関し、現地調査を行いました。

出された意見

請願内容の詳細把握が必要であることや、特定個人の人権侵害と受け止められかねない表現はいかなるものか、請願者と町当局間での解決に向けた協議を進めることが適当と思われるなどの意見がありました。

審査結果

慎重に審議を重ねた結果、継続審査として引き続き検討を加えていくとの結論に至りました。

陳情

「東海第二原発の稼働延長を認めない陳情」に対する継続審査

出された意見

「趣旨そのものは賛同できるが、原子力規制委員会と経済産業省に対し本町独自の内容で出すべきである」などの意見がありました。

審査結果

全員一致で不採択

意見案の提出

当委員会提出のもと、町民の安心安全を最優先しなければならぬため、本町独自の意見書を提出すべきと判断し、議会最終日に意見案を提出しました。

総務常任委員会所管事務調査報告

「暮らし高まるたかねざわ」に向けて 「公共交通」・「人口増加施策」の最前線を探る！ 10月22日・23日 富山県富山市・舟橋村

調査の目的

当委員会の日常調査テーマの課題解決に向けて、富山県内の2つの自治体に行き、最前線の施策展開を視察研修してきました。

① 公共交通に関し、富山市の「公共交通を軸としたコンパクトな街づくり」

② 地域経営計画に関し、平成に入り人口倍増の軌跡を起こした、舟橋村の「人口増加施策について」

をしつかりと学んできました。



富山市役所にて研修

調査内容①

「コンパクトシティ富山」

北陸新幹線が富山駅まで事業認可されたことで、富山駅周辺の整備が必要となり、3つの案について比較検討を行いました。

① 既存線の高架化

② 新規路面電車を整備

③ バス代替による既存線廃止

結果として、富山港線を活かして、市民の自動車交通への依存から脱却をすることを目指し、「コンパクトシティ富山」を実践するため、新規に路面電車化を図ることが有効であると判断し整備されたとのことです。



市内を走る路面電車

都市機能の集積

今後、本格化する人口

減少や超高齢化社会への対応、持続的な町づくりを進めるため、公共交通を活性化させ、その沿線に居住・商業・文化等の都市機能を集積させることにより、自動車だけでなく安心して生活ができる都市を目指す構想で町づくりを推進してきたそうです。

高齢者の元氣アップ

平成15年に路面電車化を決定し、平成18年には「次世代路面電車LRT」を開業しました。

開業後に見られた効果で意外だったのが、LRTを利用する高齢者が、外出の機会を増やし、健康増進に繋がっているとのことです。

調査内容②

奇跡の村「舟橋」

「日本一小さな村 舟橋」は、村の将来を懸念して市街化調整区域を8年がかりで除外し、開発を進めています。

平成25年度に人口問題解決のチームを設置し、転入、転出、人口ピラミッドから将来を分析し、結果として子育てファミリー層に着目し、人口対策を進めています。

住民参加の町づくり

小学生に「こども公園部長」を任命し、理想の公園づくりや運営管理を行い、それに対し住民が協力し、地域に愛着を抱ける仕組みや、「舟橋村人口プロジェクト」の中で、「モナコ宣言2017」を唱え、「対話と支えあい」で地域課題を解決する仕組みを始めています。

調査を終えて・・・

今回の調査を終えて感じたのは、宇都宮と芳賀でLRT整備は進めており、本町の近くまで整備されます。

この環境を活かし、将来的には本町のデマントバスとLRTを連携させ、またJR宝積寺駅との連携も図れば、本町の公共交通の発展が見込まれると共に、町民の暮らしも発展すると感じました。

町民が望む暮らしにあった町づくりを進め、結果として楽しく、生き活きと、元気に住み続けられる町になるよう、さらなる調査研究をしていきます。

舟橋村総合戦略
QRコード

教育福祉常任委員会 審議報告

条例改正審査

町放課後児童健全育成事業等に関する条例の一部改正

主な補正予算

主な補正内容は、

歳入

- ・障がい者福祉サービス費等負担金 350万円
- ・重度心身障がい者医療費補助 164万円

内容

学校教育法の一部改正により、専門職大学が制度化されることに伴い、本条例の職員に関する条文に「専門職大学の前期課程を修了した者」を追記するという内容です。

質疑

Q 改正によって、現在の職員に影響はあるのか？
また、現在の職員配置は適正に配置されているのか？

A 学校教育課長

影響はありません。また、現在職員数は29名おり、子どもの状況に合わせて適正に配置されています。

一般会計 補正予算審議

阿小・阿中・北中の音楽室と配膳室にエアコン設置

Q

音楽室と配膳室にエアコンを設置する理由は？

A

学校教育課長

配膳室は夏の温度管理や衛生的な管理面で、音楽室は音の管理の面からです。

Q

今後のエアコン設置の展開は？

A

学校教育課長

次年度に、西小の校舎改修に合わせて音楽室にエアコンを設置すれば、校舎に関する整備は終了になります。



阿小の配膳室
暑さへの対応で安全な給食を

「きのこのもり」にエアコン新設



きのこのもり屋内遊具
夏場でも安心して遊べるようになります

Q

今回のエアコン設置工事は新設か？

また、改修工事とエアコン設置工事の分割発注はなぜか？

A

学校教育課長

取り換えではなく、新設設置です。分割の理由は、改修工事の学童増築に補助金が出るので、その関係により工事を分けました。

陳情審査(継続2件、新規1件)

「患者負担を増やさないことを求める国への意見書提出」に関する継続審査

審査内容

- ・各委員からの意見として、利用者の負担軽減は必要
- ・この制度は国で見直すべき
- ・利用者の負担軽減をすると、今後支える側とのバランスが取れなくなる
- ・財源確保と医療費の抑制は同一問題
- ・などの賛成、反対の意見が出ました。

審査結果

反対多数により不採択



厚労省
医療費自己負担

「難病医療費助成制度の改善を求める国への意見書提出」に関する継続審査

審査内容

- ・各委員からの意見として、平成26年に法改正した趣旨と背景が現状と違う
- ・医療費助成を受ける方は増えている
- ・難病の方への仕事受け入れ態勢が構築しつつある
- ・などの賛成、反対の意見が出ました。

審査結果

反対多数により不採択



難病情報
センター

「臓器移植の環境整備を求める意見書の採択」に対する審査

臓器移植の現状や、移植者に対する保証制度の有無などを調査、研究する必要があるため、閉会中の継続審査となりました。

教育福祉常任委員会所管事務調査報告

先進地の「地域包括ケアシステム」を調査!!

本町の地域福祉の在り方を探る!

11月5日・6日 三重県いなべ市・静岡県掛川市

調査の目的

厚労省の地域包括ケア研究会の報告書で、「住まい」、「生活支援」、「医療」、「介護」、「予防」が重要としています。

当委員会は、地域包括ケアシステムで先進的な活動をしている、三重県いなべ市の「介護予防強化推進事業（予防モデル事業）」の取り組みと、静岡県掛川市の「多職種連携による総合的な在宅支援のための体制の構築」を調査しました。

三重県いなべ市

「元氣クラブいなべ」を立ち上げ、介護予防運動!

「元氣クラブいなべ」に参加し、運動をすることによって、国保医療費の減少につながり、介護予防や地域の交流になっています。

また、地域包括支援センターの職員が、対象者と一緒に足を運び、「居場所」へつなぐ橋渡しをしていました。

（要支援者には丁寧な後押しがなければ、簡単に「居場所」に繋がりません）

さらに、「元氣づくり大学」で元氣リーダー研修を卒業した者が、介護予防事業の中心となって活動しているとのことでした。

静岡県掛川市

医療・保健・福祉・介護を多職種連携により在宅総合支援!

日常生活圏域を5つに分け、「地域健康医療センターふくしあ」を設置し、「行政」、「地域包括支援センター」、「社会福祉協議会」、「訪問看護ステーション」の4つの専門職員が1ヶ所に配置され、多職種連携で総合的な在宅支援を行っていました。

さらに、地域の人的資源で地域包括ケアシステムを作り上げていました。特徴的なことは、認知症の人が住み慣れた地域で自立した生活を送るため、地域の人たちによる認知症ケアパスを作成したことです。

調査を終えて:

「ヒト」「モノ」「カネ」の3視点が重要!

両市の考え方として、「カネ」には限界があり、携わる者の「希望」と「創意」と「工夫」の視点で、地域包括ケアシステムを実施していると感じられました。

また、「モノ」の考え方として、必要な施設や資材に関しては、国等の補助金を活用した整備をする事で、機能性や住民参加が加速すると感じました。

「ヒト」については、住民の理解と参加を十分に図る必要があります。本町でも生活支援サポーターという担い手が養成され、介護施設に向いているが、更なる人材活用と、制度の拡大転換を研究、検討し、本町にあったシステム構築に向け取り組んでいきます。



多職種連携での対応ができていた



視察に行った「中部ふくしあ」

建設産業常任委員会 審議報告

主な補正予算

説明

主な補正内容は、

歳入

・社会資本整備総合交付金 200万円

・農業災害対策特別措置補助金 225万円

・農地集積事業費交付金 返還金 90万円

歳出

・農業災害対策特別措置補助事業費 316万円

・農地集積事業費 90万円

・元気あつぷむら整備事業費 73万円

・都市再生整備計画事業費 500万円

が主なもので、その他に職員の人件費の補正がありました。

一般会計補正予算に関する主な質疑

宝積寺駅東口第2駐輪場の屋根 2019年6月完成予定!!

台風による農業用施設の被害 再建・修繕のために補助!!

Q 農業災害対策特別措置補助事業の内容は?

A 産業課長

台風24号により被災した19名の農業経営に必要な農業用施設等の再建・修繕に要する経費を助成します。
補助率は、国が30%、県が20%、町が20%となります。

Q 駐輪場屋根設置工事の内容と完成時期は?

A 都市整備課長

屋根設置に当たり、地盤の耐力不足が判明したため、地盤改良工事を実施します。
工事費500万円のうち200万円は国の交付金です。
この工事により、屋根の完成時期は、2019年6月の予定となります。



屋根設置工事が待たれる北側の第2駐輪場



台風24号によって被災した農業用施設

陳情に関する審議

土づくりセンター継続稼働に関する陳情

陳情者

御料会株式会社

陳情内容

「たんたんくん」は、農産物を育てる土壌づくりに最適な肥料として評価されています。

今後土づくりセンターは、町にとって循環型農業を推進し、安全・安心な農産物を生産するために必要不可欠な施設であり、継続稼働を求めます。

町のこれまでの動き

10月16日
土づくりセンター利用組合と、酪農家に説明会・意見交換会等を実施。
11月21日
J Aしおのや園芸部会連絡協議会と、たんたんくん使用農家に説明会・意見交換会を実施。

また、近隣堆肥センター等へ訪問し、情報収集をしています。

主な意見

土づくりセンターは、循環型農業の確立や、完熟堆肥による安全安心な農産物の生産に寄与してきましたが、再稼働するにしても、財源の確保や利用者負担の見直し等の多くの課題があります。

今後、議員全員で調査研究を行うので、その結果を待つ必要があるなどの意見がありました。

また、町に対しては、「方向性の検証結果を、一定の期日をもって報告してもらう」と要望をしました。

審査結果

全委員一致で、閉会中の継続審査としました。
また、同趣旨の継続審査となっている2件の土づくりセンターに関する陳情も同様に閉会中の継続審査となりました。

建設産業常任委員会日常調査テーマ

「インフラ高まるたかねざわ」に向けて

「次世代農業」「6次産業化」に取り組む

10月11日・12日 千葉県千葉市（幕張メッセ）

調査の目的

当委員会は、今年度の日常調査目標を「本町の新たな町づくりを目指して」として、

- ① 生産性の向上
- ② 防災力の向上
- ③ 町内の魅力創出
- ④ 観光力強化を図る
- ⑤ 前期課題の解決

などを、行政とともに協議を重ね、町民の皆様がこの町に住んでいて良かったと思える「高根沢」を目指して行きます。

前期からの 継続審査内容

- ① 都市整備
 - ② 雨水対策
 - ③ 地域振興
 - ④ 農産・工業・商業・観光
上下水道
- に関するものを継続して審査しています。

調査内容

「次世代農業の展望」

農業を巡る高齢化や、新規就農者の不足など、厳しい状況にある農業は、競争力を強化して魅力ある産業にし、担い手が意欲と能力を存分に発揮できるための、環境整備を創出していく傾向があります。

農業技術の省力化や軽労化、精密化、情報化などに加え、6次産業化への取り組みも増えてきていることから、様々な視点からの制度体制を作る必要があります、重要であるとされています。

そこで、最新技術の現状を知るために、千葉県の幕張メッセに視察・研修に行ってきました。



新たな視野を見い出す

「農業ワールド2018」

農業ワールド2018では、農業に関するあらゆる資材や、技術が展示されていました。

この中には6つのエリアがあり、当委員会として注目したのが、

- ① 次世代農業EXPO
植物工場、部材、ドローン、農業IT、土壌分析、農業ロボットなど
- ② 6次産業化EXPO
食品加工機械・鮮度管理食品パッケージ、販売支援&コンサルティングなど、
- ③ 農業資材EXPO
施設園芸資材、農業機械、肥料&土、土壌改良材、水耕栽培資材など

最新の資機材を直接見て知ることができました。

「6次産業化で成功」 農産物に強みを作る

京都にある「こと京都株式会社」は、九条ネギ一つを商品ブランド化し、生産・加工・販売までを一貫して行い、「味へのこだわり」を追求し、さらに安定供給を目指して取り組んできた結果、年商400万円から10億円まで成長をしました。

会社ブランド力が高かったら、ジュースやドレッシング、ジャムを作っても、ただの製品になってしまうことや、作る農産物は価値を見出さないという意味がないことなど、改めて農産物について考えるきっかけになりました。

調査を終えて・・・

当委員会では、今回の視察により、次世代は平面を使う農業から空間を使う農業に変わっていくのかと感じました。

また、農産物に対し付加価値を生み、一貫した様々な取り組みをすることが、6次産業化の肝だと感じました。

本町で農業を営む方々が、発展的かつ持続可能な農業を推進していけるよう、今後も調査研究を進めていきます。



こと京都株式会社
ホームページ



農業ワールド2018 次世代農業の未来に期待



議会の委員会は何のためにあるの？ 委員会制度の役割を教えます！

委員会制度の意義

本会議で多数の議案を能率的に進める事や、全議員が専門的な内容を審議するのは困難です。

そこで、所管する分野ごとに審査をする仕組みとして委員会制度があります。

徹底した審議を行い、能率的な運営を図ることを目的として、常任委員会、議会運営委員会、特別委員会を設置して調査、審査、運営を行います。



当議会の委員会構成

常任委員会

当議会では、総務、教育福祉、建設産業の3つの常任委員会を設置し、各分野に沿った議案、陳情等をそれぞれの委員会で審査を行います。

議会運営委員会

議会の運営や会議規則、委員会に関する条例等の事項のほか、議長が諮問した事項について調査・審査を行います。

簡単に言えば、議会運営委員会を通さないと、議会が開催されません。

特別委員会

特別な事柄を調査・審査するために設けられ、議員の懲罰問題や予算・決算、議員定数など、必要に応じて設置される委員会です。

当議会では、広報広聴特別委員会と議会活性化特別委員会が設置されています。



議会だより編集のようす

選挙で意思を示そう！ 一人ひとりの持つ一票は大切な権利です 《国や地方の政治を任せる私たちの代表を決めるのが選挙です》



国民の権利

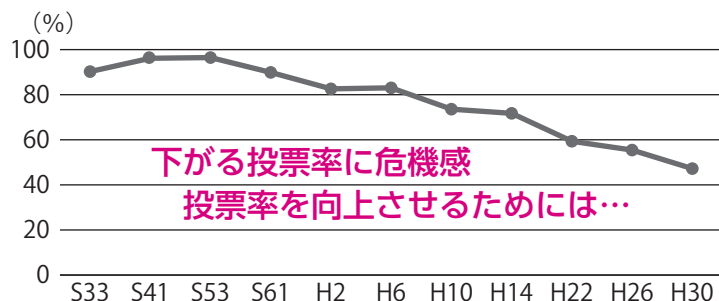
選挙権は、参政権の一つで、選挙に参加する資格や地位を指しています。立候補する側と、候補者を選ぶ側の両方に対する権利で、議員のなり手不足や、投票率の低下が社会問題となっています。

本町の現状

過去の最高の投票率を調べると、昭和53年の町長・町議会議員選挙では、なんと投票率が約96%もありました。

近年、有権者の政治に対する関心の薄さや、無投票の選挙があったことが、投票率に表れていると考えられます。

本町の投票率の推移 (町議会議員選挙)



下がる投票率に危機感
投票率を向上させるためには…

選挙に行きましょう

今年は、4月に県議会議員選挙、7月に参議院議員選挙があります。選挙は、有権者の皆さんが意思表示をする唯一の機会です。貴重な一票を投じることから、町づくりが始まり、暮らしの制度が構築されていきます。

町政を問う！

4人の議員が登場

- ◆佐藤 晴彦 議員…………… 14
 - ①消防団員支援の充実を
 - ②子ども達の将来に対する教育を
- ◆齋藤 誠治 議員…………… 15
 - ①本町における環境保全型農業の方策は
 - ②元気あっぷむら活性化への取り組みは
- ◆横須賀忠利 議員…………… 16
 - ①東小学校プロポーザル方式契約事務は
 - ②元気あっぷむらの経営の現状と道の駅の登録は
- ◆森 弘子 議員…………… 17
 - ①地域包括ケアシステムの構築を
 - ②子育て支援の充実を

本紙では、■の質問を要約して掲載しています。

一般質問って？

一般質問は、町の行財政全般に関し、議員主導で政策的な論議をする場です。

議長が、質問と答弁がよくかみ合うように議事を進めるため、質問する議員も、受ける執行機関もともに十分な準備が必要です。

そのため、議員としては、質問の構想を練り理論構成をしてその要旨を議長に通告する通告制をとっています。

質問時間は、一人につき質問、答弁、再質問を含め60分以内です。

再質問は、一問一答方式で行っています。

12／5一般質問の傍聴者 9名

皆さんが選んだ議員の考えをリアルタイムで聞けます。

ぜひ傍聴にお越しください。

今回、傍聴された皆様、議会活性化アンケートのご協力ありがとうございました。

傍聴

詳細は、[YouTube](#)や[DVD・会議録](#)をご覧ください。

一般質問のページにあるQRコード、または「高根沢町議会 第391回」で検索



会議録は、定例会及び臨時会の終了後、約2ヶ月後に発行します。

役場・図書館（中央館・仁井田分館・上高根沢分館）で貸出し、閲覧ができます。

消防団員支援の充実を 答【町長】町内の店舗に「応援の店」 加入を働きかける

消防団



佐藤 晴彦 議員



消防団員の現状

Q 団員確保の将来予測は？

A 町長

本町条例の定員255名に対し、現在250名で、充足率98%である。本町の将来人口の推測結果では、今後も少子高齢化が予測され、団員の確保が難しくなる傾向が想像できる。町として支援を図りながら、人材確保に努める。

免許取得補助

Q 消防庁が示した準中型免許取得の公費負担制度に取り組む考えは？

A 町長

次年度当初より、大田原市が準中型免許取得補助を出す予定であるが、平成29年度に県に対し補助事業の創設を要望しており、県内各市町が足並みを揃えて取り組んでいるように考えている。

消防団員支援制度

Q 消防団員確保・支援に向け、本町独自のサポート事業に取り組む考えは？

A 町長

本町ではない県内6市4町では、独自のサポート事業を行っている。今年4月から、県として「消防団応援の店制度」を創設し、県内の団員とその家族等を対象に県内166店舗でのサービス提供を行っている。現在、町内で「応援の店」に加入している店舗がないことから、町内店舗に対し、県の制度を周知し「応援の店」に加入してもらえよう働きかける。



栃木県の「消防団応援の店制度」QRコード

問子ども達の将来に対する教育を

答【教育長】各学年の発達段階に応じたキャリア教育を進める

キャリア教育

Q キャリア教育の効果はどう捉えているか？

A 教育長

児童・生徒が、仕事に対する具体的なイメージ、適性等を把握し、自己理解を深めている。それが何よりの効果と捉えている。

ジュニア救命士育成

Q ジュニア救命士育成の救命講習授業を取り入れては？

A 教育長

現在、各小中学校では必要に応じて救命講習を行っている。授業ではなく、夏休みに実施している「たんたん探検隊」で救命体験教室を検討する。

資格取得教育

Q 子どもにも資格が取得できるような授業の実施をしては？

A 教育長

児童・生徒が、資格取得できるような直接的な授業は実施してないが、各学年の発達段階に応じたキャリア教育を進め、子ども達が将来の仕事を選択する過程で資格の必要性を判断し、行動できるように繋げていく。



阿中でのキャリア教育「職業人に聞く」授業風景



問環境保全型農業の方策は

**答【町長】「土づくりセンター」を修繕すれば
良いという状況ではない**



齋藤 誠治 議員

たんだん

ブランド農産物の推進

Q

たんだん農産物として認知されたブランド化の推進と今後の取り組みは？

A

町長

これまでJAや農業者等、生産者の皆様との協力関係で、土づくりセンターで生産された有機堆肥「たんだんくん」を利用した農産物を推進してきたところであり、品質の高い農産物が生まれている。

JA部会での取り決めにより「たんだんくん」の施用必須としてブランド化の推進に取り組んできた。

「たんだんくん」を核とした農産物のブランド化の推進については、様々な問題を抱えており、単に土づくりセンターを修繕すれば良いという状況ではない。

今後どうなる

Q

土づくりセンターの今後の方針は？

A

町長

現在、「修繕」、「簡易な施設への建て替え」、「廃止」の3つの方向性で検討を進めている。

その判断をする中で、現状、「たんだんくん」の原料となる牛糞を搬入している酪農家が8名しかいないこと、一部の限られた農業者のための施設になっているということも踏まえて判断していく。



製造された堆肥たんだんくん

問元気あっぷむら活性化への取り組みは

**答【町長】滞在型にシフトチェンジし、
新たな賑わいを創出したい**

道の駅

新たな整備はいかに

Q

道の駅化整備の具体的な方針は？

A

町長

元気あっぷむらを拠点に、「温泉があり、美味しいものが食べられ、買いたい物ができ、遊び、滞在することができ」と、新たな賑わいの創出を考えている。

町内の方はもとより、町外、県外の方、特に20代の若者層、30、40代のファミリー層をターゲットとして、立ち寄り型ではなく、ここを目指して来てもらう、滞在型にするのが大きな取り組み方針である。

新しい元気あっぷむら、そして町の魅力を創出し、地域への流れをさらに促進していこうとする、地域創生の取り組みでもある。

発展的将来性への
見込み

Q

現時点で集客数および営業利益の試算、事業規模、概算事業費は？

A

町長

業務委託をし、データ収集を含めた売上高、経費等の損失計算、そして施設整備の最適規模算定を、同時に進めながらシミュレーションを重ね、数字を精査している。

「屋外トイレと情報発信館等の整備」、「既存施設の修繕や周辺施設の新たな整備」を行う考えだが、具体的な事業規模及び概算事業費を示せる段階ではない。



親水公園も生まれ変わるか？

問東小学校プロポーザル方式契約事務は 答町長・教育長(委員長※)の確認事項

契約



横須賀 忠利 議員



平成27年12月22日の質問書・回答書の抜粋

業者からの質問	町からの回答
同種業務実績は公共建築物の小学校、中学、高校、大学の新築若しくは改築と考えてよろしいでしょうか。また、建築規模について条件はありますか。	新築改築に加えて大規模改修も実績とします。ただし、受注金額 3000 万円以上を実績とします。

業者質疑の確認

Q

業者からの質疑に対し、「同種業務実績は、受注金額 3000 万円以上の実績」と平成 27 年 12 月 22 日に回答したことを、町長は確認をしたのか？

A

町長

回答書は町長決裁事項ではないため、確認していない。

A

教育長

業者からの質疑及び回答書を確認している。
※小堀教育長は東小プロポーザル審査委員長です。

書類確認の有無

Q

企画提案書・技術提案書を確認しているのか？

A

町長

プロポーザル審査の企画提案書は、提出先である「こどもみらい課」において受付され、部外秘のまま審査委員会の方々に届けられますので、確認はしていない。

A

教育長

企画提案書の審査は、プロポーザル審査委員会にお願いしているので、私の確認する書類ではない。審査委員の一人として書類を確認している。

問元気あっぷむらの経営経過を 道の駅構想にどう活かすか

答【町長】施設全体のリニューアルが必要

道の駅

経営状況

Q

元気あっぷむらの収支状況と総売上・営業損益、また営業損益から、指定管理料を差し引いた売上計上の年度別の経営経過と損失赤字の年度は？

A

町長

元気あっぷ公社における平成 9 年から平成 29 年度までの営業損益の累計は約 680 万円の赤字。
元気あっぷ公社が最高の営業損益 2800 万円の黒字を計上した平成 13 年度でも、計算上約 1 億 600 万円の赤字で、創業以来毎年大幅な赤字を計上している状況。
民間企業であれば実質的に経営破綻している状況である。

今後の構想

Q

今までの経営経過を道の駅構想にどう活かすか？

A

町長

経営経過の検証結果、今まで実施してきた元気あっぷ公社の業績回復に向けた努力や取り組みをしても、抜本的な経営改善には、至らない現実がある。

また、新たな施設整備を含め、施設全体のリニューアルが必要である。運営方法についても、施設の持つ魅力を最大限に引き出せる方策を、今後模索していく。



再起が待たれる元気あっぷむら



問地域包括ケアシステムの取り組み状況は

答【町長】在宅支援体制づくりを進めている



森 弘子 議員

生活支援

地域介護の構築

Q

地域包括ケアシステムの構築に向けて、本町の取り組み状況は？

A

町長

平成27年度に、町内全体の「生活支援」を考える場として「第一層協議体」を設置した。

第一層の構成メンバー

とともに、地域懇談会を開催し「地域課題の問題提起」や「課題の抽出」等を実施してきた。

その結果として昨年5月に、「北高根沢中学校区」と、11月に「阿久津中学校区」で「第二層協議体」を設置し、地域ごとに住民の声を集約し、ニーズの把握と課題の抽出をしている。

今後は、必要な生活支援ニーズを明確化し、地域住民の力を活用した多様な生活支援サービスを進めていく。

介護認定

Q

介護認定を受けていない一般高齢者の実体把握は？

A

町長

「要介護認定を受けていない75歳以上の独居高齢者」及び「高齢者のみ世帯」を対象に、地域包括支援センターの職員が戸別訪問を実施。

心身の健康状態や生活状況を把握し、一人ひとりの状況に合わせて、見守り訪問、サロン、介護予防教室の紹介、介護認定申請の勧奨等、必要な支援につないでいる。

問待機児童対策は

答【教育長】保育士の安定雇用で待機児童ゼロ！

保育

待機児童の現状と対策

Q

子育て支援の充実として、保育園の待機児童対策は？

A

町長

「小規模保育事業所」が平成28年度に開所し、対象の0、2歳児を最大限受け入れられるよう定員設定を行っている。

また、指定管理保育園を含む、町内全ての民間保育園に対して補助を行い、全ての保育園で設置基準を超えて保育士を雇用している。

現在、保育士の安定的雇用で、待機児童数は、例年0名の状況である。

保育事業所の連携

Q

小規模保育事業所を卒園した後、連携施設への受け入れ態勢は十分か？

A

教育長

小規模保育事業所の連携施設は「たから保育園」と協定が結ばれており、「卒園後の受け皿支援」として、受け入れ枠の範囲内で受け入れを行っている。

今年度は10名の卒園児がいるが、連携施設への入園希望が4名、連携施設以外の希望が6名で、連携施設に限らない希望状況があり、十分な体制であると言える。

修繕計画

Q

耐用年数を勘案しつつ、計画的に修繕を行わなければならない保育園は？

A

教育長

公立保育園は4カ所あり、「たから保育園」が最も古く、次に「ひまわり保育園」が古い施設で施設整備が必要である。「地域経営計画2016」のもと、財政計画を踏まえ、安全で安心な保育サービスを提供するため、保育園整備について協議しながら取り組んでいく。

時代の変化に対応できる議会を目指して！ 議会活性化特別委員会を設置



上段 ①小林 栄治 ②横須賀忠利 ③野中 昭一
下段 ④副委員長 佐藤 晴彦
⑤委員長 神林 秀治 ⑥澤畑 宏之

設置理由

近年、議会の在り方が問われています。
議会が、「町民の負託に真摯に応えられる議会はどうあるべきか」という課題に、特別委員会を設置し、課題解決をしていくことになりました。

この委員会は、議長の諮問機関であり、「開かれた議会」、「議会の活性化」をより一層強化していき、議会が行使できる権限の活用や、議会運営の推進に向けた施策を検討・研究していきます。

設置期間

平成30年12月13日
平成32年3月まで

委員紹介

ミッション⑥ 議員資質向上

住民代表機関の責務を果たすべく、全議員が資質を向上し、議会の機能を強化する方策を検討する。

ミッション⑤ 議員間討議

各議員が抱える政策課題等を、全議員で共有・議論できる場を構築し、議会で課題解決に導ける仕組み作りを検討する。

ミッション④ 議員定数

次期改選に向け、議員定数の在り様を検証し、住民意思を反映できる人数や、議員のなり手不足の解消も踏まえた検討をする。

ミッション① 常任委員会の構成

現在、3つの常任委員会（総務・教育福祉・建設産業）で構成しているが、今後の委員数や委員会の構成を検討する。

ミッション② 一般質問

現在、一括質疑・一括答弁の後から、一問一答方式で行っているが、完全に一問一答にする事や、質問の在り様について検討する。

ミッション③ タブレット端末導入

時代変化に伴い、ペーパーレスで紙を必要以上に使わず、タブレット端末を利用した議会運営に取り組んでいる議会が増加しており、当議会でも今後の在り方を検討する。

ミッション⑦ 会派

各常任委員会で町政課題や住民課題を審議しているが、より見識を深め、しっかりと議論・提言するために、会派の設置を検討する。

ミッション⑧ その他

課題を検討する中で、さらなる課題が生まれた時に、先進事例等を調査・研究する。

議会報告会リニューアルのお知らせ♪

『町民と議会の懇談会～カフェ・ド・ギカイ～』

多くの住民意見の広聴を目指して

平成24年10月に、当議会の「議会報告会」を開催し、一昨年の10月で9回目を実施しました。

より多くの町民の方と意見を交わしていくために、今までの報告会の在り方や、報告内容等を検証しました。

その結果、「新たな議会報告会」を実施できる準備が整いましたので、リニューアルのお知らせを致します。

「ココが変わった『議会報告会』」

・出前方式

以前は、住民の皆さんに議会が設定した会場に来ていただきましたが、議会が住民の皆様のところに出向く方式に変更しました。

・テーマは「地域課題」

以前は、決算と予算を報告し、各常任委員会のテーマに対しての意見聴収でしたが、これは、議会の自己満足であり、広聴機能は果たされていませんでした。

そこで、議会の報告は、皆さんに知っていただきたい内容にし、議会からテーマの投げかけをやめ、各地域における「地域課題」を聞き、皆さんと議員が一緒になって考え、対話をしながら課題の共有と解決に向けた検討をしていきます。

・会場
会場は、申込者側でご用意していただきます。（用意できない場合は要相談）

・申し込み
以前は、興味のある方に来ていただきましたが、今後は各自治会もしくは小学校区、公共機関が設置している団体等からの要請を受ける形で開催します。

・お申し込みは、お住まいの行政
区長を通して議会事務局にご連絡及び手続きをしていただきます。

また、公共機関設置団体は、直接議会事務局にお申し込みください。

申込締切…2月1日（金）

子育て・地域福祉・防犯・防災・介護・生活環境などなど
皆さんの声を聴きに伺います。

開催日
2月9日
土曜日
時間
①10:00
②13:00
③16:00

※申し込みは先着順とし、状況によってはお断りする場合がありますので、ご了承ください。

・開催時期

過去の開催は、10月と、4月に開催していましたが、各定例会終了後の時期を考慮し、2月・4月・7月・11月の4回を開催し、議会が指定したその月のいずれかの土曜日の、10時・13時・16時で3会場に出向けるようにしました。

各会場での報告及び懇談時間は、以前と同様の2時間とします。

・申し込み

以前は、興味のある方に来ていただきましたが、今後は各自治会もしくは小学校区、公共機関が設置している団体等からの要請を受ける形で開催します。

お申し込みは、お住まいの行政
区長を通して議会事務局にご連絡及び手続きをしていただきます。

また、公共機関設置団体は、直接議会事務局にお申し込みください。

申込締切…2月1日（金）

お申込み先 議会事務局

675-8111まで

「道の駅」の

魅力を調査

調査の目的

町は、「元氣あつぷむら」再生を図るため、「道の駅」に登録し周辺施設を整備します。

「関東好きな道の駅ランキング」で5年連続第1位を受賞した「田園プラザ川場」へ行き、今後の整備計画に有効な意見を提言するため、調査してきました。

都市交流からの発展

川場村の基幹産業は「農業プラス観光」であり、30年以上前から世田谷区と都市交流体験事業を展開し、毎年多くの区民を受け入れています。

一昨年の道の駅の来客者は180万人、そのうち7割が首都圏からで、さらにその4割がリピーターです。

年商は20億円、直売所の売り上げは6億円で、村内の9割以上の農家420名の方が直売所へ出荷しています。

他に6次産業化で製造販売しているミルク工房、ビール工房、パン工房、レストラン、物産館、ピザ工房等があり、15年間黒字経営となっています。

調査での所感

到着して目に入った光景は、中央のオープンスペースと大きな日本家屋の数々が、敷地の中にゆったりと配置されている印象でした。

従業員のみなならず、出荷している生産者の皆さんも、お客様目線を持って、同じ方向性を向いて頑張っていました。

また、地域資源をフル活用し、加工品製造で、さらに価値ある商品を生み出していました。

様々な取り組みを創出し続ける努力により、来場者数が180万人という数字をたたき出していることに納得しました。

この調査を十分に検証し、元氣あつぷむらの「道の駅」整備で、全国からより多くの方々に来てもらえるよう、建設的な提言をしていきます。

全保育園の

実情を探る

保育園運営の在り方

本町にある保育園は、公設公営型が2園、公設民営型2園、民設民営型4園の合計8つの保育園があります。

本町の地域経営計画の中で、「公設民営保育園（指定管理）」の運営の在り方について検討する」という内容が盛り込まれており、指定管理保育園である「たから保育園」と「ひまわり保育園」について、「指定管理」として継続するのか、または「民営化」へ移行するのかについて、町は実質的な検討が始まりました。

調査の目的

当常任委員会の所管事務調査テーマとして「保育園の運営について」を調査しており、全保育園を視察し、保育園に関する状況を聞き、今後の町の方向性に対し、提言するため調査してきました。

調査から見えた
保育園運営の違い

全保育園で、利用者ファーストの、保育サービスや、保育士の資質向上を図っていました。

違いは、公設公営は、行政ならではの安定的・公平な運営に努めており、公設民営は、中長期計画が立てられず不安定な運営になっていること、民設民営は、特徴を見い出した保育サービスの提供をしていました。

調査を終えて・・・

今回の調査で、公設公営であるが故の安定かつ公平な保育園運営の在り方や、公設民営ならではの責任所在の明確さや、指定管理者によって変わる価値観、民設民営の独自性のある保育園運営と、大変参考になる意見をいただくことができました。

今後、さらに議論を重ね、一つの方向性を見い出していきたいと思えます。



利用者の立場に立った
運営の在り方を検証

道の駅「田園プラザ川場」



重要町政課題①

「元気あっぷむら」の再生

新たな可能性への挑戦！！



新たな賑わいの拠点とする
「元気あっぷむら」

経過と背景

平成9年のオープンから21年が経過しました。オープン当初、入場者数は、年間約60万人でしたが、現在では30万人を割り込み、経営は厳しい状況です。

来てもらえる施設は、常にリニューアルしていく必要があります。町として元気あっぷむらの再構築に向けて、どうしていくのかを検討するとともに、地域創生、活力ある地域づくりを推進するためには、町民にとって、必要かつ有効な施設になるよう考えていきます。

道の駅とは

「道の駅」は、通過する道路利用者の休憩等がサービスの中心でした。近年は、農業・観光・文化など、地域の個性、魅力を活かした様々な取り組みがされています。

現在では、「地域の拠点」及び「癒し・食事・体験・遊ぶ・滞在などを楽しむ場」としての重要性が高まっており、「道の駅」自体を目的地とする施設運営が主流となっています。

本町でも、町外・県外の人々（特に若者層やファミリー層）に、「通過するのではなく、ここを目指して来てもらい、そして滞在してもらう」新たな賑わいの場を創り出していく必要性はあると思います。

スケジュール

昨年10月1日から、元気あっぷむらの「道の駅」に向け、本格的に始動しました。

① 元気あっぷ創生課の設置

② 情報発信館、屋外トイレ詳細設計

③ 「道の駅」の最適規模の算定と経営分析を行うアドバイザリー業務委託

④ 設計、工事

⑤ 2020年4月（予定）道の駅プレオープン

⑥ 2020年10月（予定）グランドオープン

このような形で、計画推進を図り、元気あっぷむらの再生を目指していく予定です。

ブランド力を活かす

元気あっぷむらのコンセプトである「食と農の健康拠点」をさらに磨き上げていき、新たな観光の魅力創造と、公共福祉を目的とした、地域住民へのサービス提供を行う「地域拠点」整備をすることが、元気あっぷむらの価値を高め、誘客につながります。

観光メニューである「花・食・温泉・自然・歴史文化・お土産・酒・体験スポット」などの中で、元気あっぷむらが兼ね備えているものは、さらに優れたものにして、足りないところは補い、「道の駅」が持つブランド力を活かした「新たな元気あっぷむら」を創り上げていかなければなりません。

新たな賑わいの創出

○滞在型観光施設として
体験の森・親水公園のロケーションを活かし、「グランピング」と「地元農産物」を活用した食の提供。

○体験型観光施設として
体験の森・自然の森・親水公園でのアスレチック等、家族や仲間が遊べる施設整備などを進める予定。



「体験の森」等も
賑わいの観光施設へ

議会として

元気あっぷむらを再生するため、道の駅施設整備は、町民の視点に立って、住民サービスの向上及び新たな賑わいの拠点となるよう十分検証し、議論し提言していきます。

土づくりセンター稼働停止！！

様々な課題への対応を求む声



個人の堆肥舎 夏場の処理不可能が解決

(1) 利用組合の堆肥処理

課題

堆肥舎の許容量を超え、自己処理が不可能な組合員5戸の、処理不可能見込数量が約63tあります。

対応状況

1. 町内で散布できる圃場を町で斡旋
2. 搬入できる町外の堆肥センターを、町で斡旋

(2) もみ殻収集

課題

平成30年産米のもみ殻自家処理をどうするのか。

対応状況

もみ殻収集・処理は、JAの管理業務委託の中行っており、もみ殻の搬出処理は、民間の堆肥製造メーカーが無償で引き取りをしています。

(3) 堆肥「たんたんくん」利用者への対応

課題

代替える肥料の確保

対応状況

「たんたんくん」に代わる、有機堆肥の情報提供をしており、昨年10月に農事組合を通じて、回覧文を出すとともに、町ホームページに同様の内容を掲示しました。

土づくりセンター 3つの方向性を模索中



平成30年5月の倒壊以前の外観

町の考え

累計約15億円の赤字や利用者の負担見直し、運営委託の在り方などの課題があり、土づくりセンターの今後を3つの方向性で模索しています。

① 修繕

修繕をした場合、原料収集から販売までの体制が整っており、稼働再開後の混乱が少なく、生ゴミ循環を再開できるメリットがあります。

デメリットとして、修繕費や修繕期間等がかかり、継続した維持管理費が懸念されます。

現在、生ゴミは可燃ゴミとして排出され、分別に対する理解が得られるかが不透明です。

再度、町民の循環型社会に対する意識醸成を図り、理解を得る必要があると考えられます。

② 簡易施設への建て替え

規模縮小や簡易な施設にすることで、土づくりセンターの目的や役割が継続でき、維持管理費の削減が見込まれます。

その反面、建て替え建築費等の初期投資や、プラントの解体費用、補助金の返還などが想定されます。

また、生ゴミ搬入の必要性や搬入量の検討もしなければなりません。

③ 廃止

センター利用者の減少や、財政負担等を考慮し廃止をした場合、維持管理費がなくなることや、町独自の生ゴミ専用袋購入等がなくなります。

ただし、解体費や補助金返還、広域行政ゴミ処理負担金の増加、環境学習拠点の消失、跡地利用などの課題が残ります。

特別企画

地域で健康に生き活きと暮らそう

特別企画に対する思い

全国どこでも「少子高齢化」が進み、本町においても例外ではありません。

現在、町の平均寿命は男性が80.5歳で、女性は86.4歳となっています。

「人生100年時代」といわれる今、国は「健康で住み慣れた地域で暮らし続けられる仕組み」として、「地域包括ケアシステム」という制度を推進しています。

この制度のキーワードは「地域と健康」であり、地域の中での支え合いや、生きがい作りの場を設置したりするなど、生涯にわたり人生を楽しく元気に過ごしていけるようにするものです。

本町も、国の制度を取り組むことによって、町民の方々が、「高根沢に住んでいてよかった」と思えるようにしていかなければなりません。

今回の特別企画では、以前から地域の中で高齢の方の生きがい作りや、健康づくりを進めてきた「シニアクラブ」に注目し、その活動を知り、興味を抱いてもらい、ご自身の健康づくりのきっかけになればという思いで、誌面を作成しました。

生き活きと
過ごすには

「健康第一」

シニアクラブ（老人クラブ）ってどういう所？



老人クラブのシンボルマーク
「末広鶴と日の丸」

シニアクラブの 始まり

戦後荒廃した社会において、「老後の幸せは自らの手で開こう」とする先覚者たちが、老後に不安を感じている老友や、

老後の問題に関心を寄せる人々に呼びかけ、昭和27年に全国の社会福祉協議会で「老人クラブ」作りが進められたことで、全国各地に次々と結成されました。

昭和37年に「全国老人クラブ連合会」が設立し、「のばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」をテーマに、現在も全国で活動をされています。

活動の目的

- (1) 仲間づくりを通して、生きがいと健康づくり、生活を豊かにする楽しい活動を行う。
- (2) その知識や経験を生かして、地域の諸団体と共同じ、地域を豊かにする社会活動に取り組む。
- (3) 明るい長寿社会づくり、保健福祉の向上に努める。

の3つを目的として活動しています。

健康・友愛・奉仕 「全国三大運動」

老人クラブは、発足当初から「健康」「友愛」「奉仕」の活動に取り組んでおり、高齢期を楽しく、

生きがいを持ち、安心して暮らしていくために、健康で自立し、身近な仲間と支え合いながら、住みよい地域づくりを進めていくことが必要であることから、

- (1) 地域高齢者の健康づくり・介護予防活動
- (2) 在宅高齢者やその家族を支援する友愛活動
- (3) 安全・安心の住みよいまちづくりを目指すボランティア活動

のもと、本格化する超高齢社会を明るく、豊かで活力あるものにすることを目指して、「健康」「友愛」「奉仕」の三大運動の推進を図っています。



H30. 3月現在でのクラブの状況

「人生100年時代」 住み慣れた

活発で元気な『町シニアクラブ』にインタビュー

高根

本日は、快くインタビューに応じていただきありがとうございます。宜しく願います。

仙波・加藤

こちらこそ、どうぞ宜しくお願いします。

高根

町シニアクラブの現状と課題、それに対する対策はありますか？

仙波

老人会の発足当時は、全行政区画にありましたが、現在は行政区数の約半数の27クラブで、会員数は約700名です。

課題は、全国的に高齢による退会者が増え、会員の減少が進んでいることです。

各クラブにおいてお誘いをしたり、クラブがない地域の区長さんへ設立のお願いをしています。



町シニアクラブ
仙波清之会長



園児たちと草むしり



県大会で輪投げ競技優勝
太田シニアクラブ



町シニアクラブ主催の
スポーツ大会風景

高根

皆さんの日頃の活動は、どんな事を行っているのですか？

加藤

「健康づくり活動」としてグラウンド・ゴルフ、輪投げなどを行い、「友愛活動」では、一人暮らしの方へ訪問し、話し相手や見守り、困りごと支援などを行ったり、会員の親睦を図るため、旅行や花見なども行っております。

また、「地域の奉仕活動」として、公民館や公園の清掃、道路の缶拾いなどを行っています。

その他、地域花壇の花植えや、保育園や小学校の子ども達と一緒に校庭清掃、昔遊びの伝承など、様々な行事に参加し、地域のお子さんと触れ合い、元気をもらっています。



事務局長
加藤正秋氏

高根

最後に、今後の活動や目標を教えてください。

仙波

町シニアクラブは、今後も「健康・友愛・奉仕」の活動を、継続的かつ精力的に行っていく、町が目指す「支え合う地域づくり」の一翼を担えるよう頑張り、「高齢者が元気で住み慣れた地域で暮らす」ために、行政区・シニアクラブ・NPO・民生委員などと連携した活動も進めていければと考えています。

ひとりでも多くの方がシニアクラブに入会していただき、いつまでも元気で生活していただけることを願っています。

高根

本日は、大変ありがとうございました。

今後、益々のご発展を祈念しております。

仙波・加藤

こちらこそ、ありがとうございます。

高齢福祉向上に寄与できるよう、頑張っていきます。

インタビューを終えて・・・

今回、高齢の方も町づくりに対して参画する意識が高いことや、今まで培ってきた「経験・知識・技術」を、多様な場面で活かしていただけるのではないかと感じました。

議会として、今後ますます進む「少子高齢化社会」に対し、より真剣に考え、全ての町民の福祉向上を図っていくよう努めていきます。

祝 全国表彰

町シニアクラブが、昨年12月に沖縄県で開催された全国老人クラブ大会で、日頃の活動と町との協力が認められ、優良クラブとして「全国老人クラブ連合会長表彰」を授与されました。誠にありがとうございます。



継続は力なり!さらなる活躍に期待!!

広報委員の突撃
インタビュー
あなたの声を町政に

「地域の担い手を目指して！」

∞プロフィール∞
しのざき たかみつ
篠崎 孝光

出身地：伏久
趣味：柔道（三段）
現在、高根沢スポーツ少年
団部長として週2回子供た
ちに柔道を指導している

本町の基幹産業で
ある農業に着目し
て、若き農業者に今
の想いを伺いまし
た。

覚悟の就農

Q トマト栽培を始め
たきっかけは？

A 父親が米とトマト
栽培をしており、父の
手伝いをしていいるうち
に、トマト栽培に魅力
を感じ、地域農業の一
翼を担いたいと覚悟を
決め、農業大学校を卒
業後、真岡市内の農家
で1年間の研修を経
て、就農しました。
トマト栽培を始めて
から、今年で14年にな
ります。

安定した栽培

Q 栽培方法が、普通
と違うと伺っています
が、どのような方法で
すか？

A 私が取り組んでい
るのは、「ロックウー
ル養液栽培」といい、
制御装置によって、一
定量の養液をトマトの
苗に自動で与える栽培
方法です。

病気の発生が少な
く、連作が可能である
こと、また肥培管理が
しやすく、農薬をほと
んど使用しないなど、
安定した収量確保や品
質管理ができます。



ロックウール養液栽培でよりおいしい、
安全なトマトを作ることができます

目標20トン栽培！

Q 栽培面積と収量は
どの位ありますか？

A 栽培面積は、48a
です。
収量は現在10a当た
り約16トンで、目標は
20トンを目指し、努力
しています。



信頼関係は大事です

Q これだけの面積を
管理するのは大変です
が、パートさんの雇用
はしていますか？

A 現在は、6名の
パートさんを雇用して
おり、大変助かってい
ます。

信頼関係を築くため
に、楽しく、安心して
働いていただけるよう
心掛けています。

法人経営へ意欲

Q 最後に、今後の経
営体制と、町に望むこ
とは？

A 今後の経営体制と
しては、地域の担い手と
して、個人経営から法人
経営への移行を目指し
たいと考えています。

また、町への要望と
しては、補助事業や農
業経営情報の充実を、
お願いします。

取材を終えて

この度、親子の絆か
ら地域農業者の担い手
が生まれる現場を垣間
みられたこと、また篠
崎さんから信頼関係の
話を聞き、我々も町民
との信頼関係をより強
固にすることの大切さ
を再認識でき、ありが
たい機会でした。
まちづくりにも言え
ますが、「信頼」を得
ることが地域活性化の
王道であると痛切に感
じた取材でした。

暮らしの政治を見てみよう

議会傍聴へ
お越しく下さい

次回の定例会は2月26日～3月14日予定。
日程詳細・議事録は、
町ホームページをご覧ください。

議会の情報をより早く皆様へ

次回の発行は4月20日になります。

「議会だより」掲載写真募集

写真は町内のイベントや人物、風景をとった
ものをデジタルデータ等で提出してください。
皆様の応募をお待ちしています。(写真は返却
いたします)

一・

広報誌が
スマホで
見れて便利
「マチイロ」&
「栃木イーブックス」
を検索



たかねざわまち
議会だよりNo. 146

発行 高根沢町議会 編集 広報広聴特別委員会
平成31年1月20日発行 印刷 (株)松井ビ・テ・オ・印刷

〒329-1292 栃木県塩谷郡高根沢町大字石末2053番地
TEL 028(675)8111 FAX 028(675)2409